

2011年度企画展

# 物流写真館

— 運ぶ風景の時代証言 —

会期：2011年10月26日(水)～12月20日(火)



上：世界貿易センタービルと旧国鉄・汐留貨物駅  
1970年代初頭

下：「構内の印象」 撮影：花岡弘明氏  
帯広駅 1960年代初頭

## 映画上映会

開催日時：11月13日(日)／12月18日(日)  
午後2時～3時15分

上映作品：「海と陸をむすぶ」  
(1960年/演出：野田真吉・長野千秋ほか/日本通運)  
「380トンジンポール」  
(1960年代初頭/新潟映画社・日本通運)

参加方法：先着順(30名) ※入館料が必要となります。

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日／11月4日・11月22日・11月24日・12月7日・12月8日

【入館料】大人200円／小・中学生100円(小中学生は土曜日無料)

\*団体20名以上半額／地下1階の常設展示もご覧いただけます。

〒108-0074 東京都港区高輪4-7-15

TEL：03-3280-1616/FAX：03-3280-4385

JR・京急品川駅・高輪口徒歩7分／都営浅草線 高輪台駅徒歩7分

<http://www.lmuse.or.jp/>

物流博物館



# 物流現場から見る時代の足跡

今回の企画展では、1960年代初頭に撮影されたある写真作品(「構内の印象」/撮影：花岡弘明氏)を取り上げ、この写真を読み解いていくところから、展示を始めてみたいと思います。

展示の後半では、キーとなる数枚の写真と関連する写真を通して、社会の変化と物流の関係を提示していきます。

展示される写真は、時代的には概ね1950年代以降、1970年代の高度成長が終わりを告げた頃までに撮影されたものです。写真は館蔵のコレクションから選んでいます。時代相を示すと思われる写真については、あえて正確な年代や場所が不明確なものも加えています。また、参考資料として、若干の実物資料の展示も行います。



# 物流写真館

運ぶ風景の時代証言



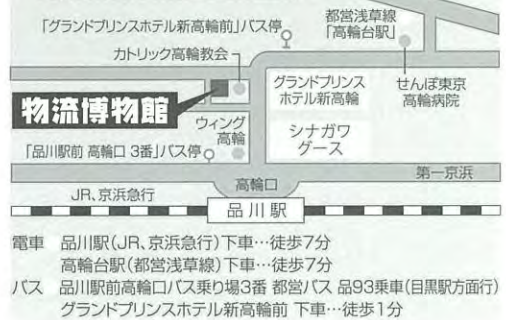
## <展示構成>

第1章：一枚の写真から

第2章：時代を運ぶ

※毎日スライド上映を行います。

## 物流博物館へのアクセス



上段：横浜線小机駅 昭和40年代後半(原画はカラー)

中段左：天秤棒を担ぐ 中国地方 昭和30年代初頭 / 中段右上：荷馬車の集配作業 北海道・旭川 昭和37年(1962) / 中段右下：深夜の休憩 昭和30年代前半

下段：上屋からあふれ出した輸入貨物 羽田空港にて 昭和48年(1973)10月頃